

住田町林業勉強会（壊れにくい路網の計画的な作設）の開催について

1 はじめに

住田町では、「森林・林業日本一のまちづくり」を目指し、林業の振興を目的として、その時々課題に合わせ、勉強会を開催しています。

今回は、「壊れにくい路網の計画的な作設」をテーマとして勉強会が開催されました。

大船渡農林振興センターでは、当該勉強会にオブザーバー参加し、現地検討の際に活用できるQGISで作成した図面の提供と解説、RTK-GNSS（高精度のGPS機器）やスマホ及びタブレットを用いた現地での図面参照の実演、令和4年4月1日から様式が変更となる「伐採及び伐採後の造林の届出書」の概要等の説明を行いました。

2 勉強会の内容

令和3年12月20日（月）に住田町有林において、町内の素材生産事業者等を始めとした林業関係者を対象に、路網作設に係る意見交換等を実施しました。

（1）現地での意見交換

現地での意見交換では、間伐実施個所及び主伐・再造林実施個所において、作設されている作業道を見ながら、壊れやすいポイント、水切りを入れる箇所や角度、路肩の施工方法について活発な議論が交わされました。

また、意見交換を実施した路網の中に、住田町がFSC森林認証の年次監査の際に「伐開幅をより少なくするのが望ましい」旨の意見を受けた箇所が含まれていたことから、伐採や伐開が必要な箇所、伐開幅を抑制するために検討すべき線形についても議論が交わされました。

（2）室内での意見交換

室内での意見交換では、現地での検討結果を踏まえて、住田町「作業道・搬出路作設指針」の変更についての意見交換が交わされました。今回の結果を受け、住田町が改定をする予定です。

3 今後の対応

今後も、林業関係者の意見交換等について積極的に支援するほか、今回の様に、スマホツール等の身近な機材を用いての効率的な作業を行う方法の普及に努めていく予定です。

